

一般財団法人

石巻地区勤労者福祉サービスセンター

- (1) 情報公開シート I (PDCAサイクルシート)
- (2) 情報公開シート II (財務諸表等)
- (3) 情報公開シート II の補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見書等
- (5) 定款又は寄附行為
- (6) 役員名簿
- (7) 事業報告書
- (8) 損益計算書又は正味財産増減計算書
- (9) 貸借対照表
- (10) キャッシュ・フロー計算書
- (11) 財産目録
- (12) 事業計画書

第三セクター情報公開シートI (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 平成 29 年 6 月 9 日

市所管部署 石巻市 産業部商工課

2 法人名称等

法人名称 一般財団法人石巻地区勤労者福祉サービスセンター
 法人所在地 石巻市 開成1番地35
 設立年月日 平成 9 年 4 月 1 日
 代表者職・氏名 代表理事 亀山 紘

設立目的・経過

石巻市内、東松島市内及び女川町内の中小企業に勤務する従業員及び事業主等に対し、総合的な福祉事業を行い、中小企業の振興及び地域社会の活性化に寄与することを目的とし、現在に至る。

3 定款上の事業内容

- (1) 中小企業勤労者等の在職中の生活安定に係る事業
 (2) 中小企業勤労者等の健康の維持増進に係る事業
 (3) 中小企業勤労者等の老後生活の安定に係る事業
 (4) 中小企業勤労者等の自己啓発及び余暇活動に係る事業
 (5) 中小企業勤労者等の財産形成に係る事業
 (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
30,000 千円	24,810 千円	82.7 %	東松島市	3,180 千円	10.6 %
			女川町	2,010 千円	6.7 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員状況

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	10	10	10
うち市職員	3	3	3
うち市退職者	0	0	0
計	11	11	11
うち市職員	3	3	3
うち市退職者	1	1	1

(2) 職員状況

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	4	5	5
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	4	5	5
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

石巻広域圏の勤労者及びその家族並びに一般の方々等が充実した毎日を過ごせるよう、総合的な福祉事業の展開と中小企業の復興及び発展を第一に掲げ、会員数の拡大（平成29年5月31日現在、会員数2,831名）に努め、更なる充実したサービスの提供を目指す。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
会員登録	人	目標計画	3100	3300	3500	3500	3500
		実績	2835	2791			
目標・指標の説明			震災前、約3,200名登録していた会員は、震災後、大幅に減員となったため震災前の数値を目標に加入に努めている。				
目標未達の場合の要因分析			復興への兆しが見えているなか、石巻広域圏の中小企業の振興は未だ厳しい状況化にあり、事業所が従業員のための福利厚生の実現化を図る以前に、不安定な経済・先行き不透明な生活環境が大きく影響していると思われる。				

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
		目標計画					
		実績					
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
在職中の生活安定に係る事業	震災前同様の共済給付事業を行った。	共済金を請求された方々へ、延滞なく迅速な対応と速やかな事務業務を遂行し給付を行った。	業務手続きは迅速に遂行できた。
事業の公共性、公益性	会費を納入している会員のみ		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
健康の維持増進に係る事業	インフルエンザ接種料補助等の事業にも取り組み、更なる健康維持増進に努めた。	健康維持施設（体育施設）も震災以降増えず、震災前同様の事業実施に苦慮しているが、インフルエンザ接種料補助の利用者が前期に比べ2割程度増えていることから一定の事業は提供できた。	新しい施設や新企画も実行しながら魅力ある事業展開をしてきた。
事業の公共性、公益性	利用は、主に会員及び登録家族であるが、事業内容により一般の方々も参加できる。		

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
老後生活の安定に係る事業	会報紙等に資料等を同封し、会員へ配付した。	資料等を配付することで個々の会員の意識を高めた。今後も、様々な視点から生活環境にあわせた内容を提供していきたい。	これからの年金等の減額に伴い、会員が安心して老後生活ができる様に情報の提供に努めた。
事業の公共性、公益性	主に会員及び登録家族であるが、事業内容により一般の方々も参加できる。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
自己啓発及び余暇活動に係る事業	人気のある事業は継続に加え、更に新しい事業を取り入れ、参加者も増加傾向となった。	常に創意工夫をし、魅力ある事業が提供できたと考えるが、更に2市1町内で提供できる事業の開催に努め、活性化に努めたい。	今後も創意工夫をし、新しいものを取り入れ魅力ある事業の開催に努めた。
事業の公共性、公益性	利用は、主に会員及び登録家族であるが、事業内容により一般の方々も参加できる。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
財産形成に係る事業	会報紙等に資料等を同封し、会員へ配付した。	資料等を配付することで個々の会員の意識を高めた。今後も、様々な視点から生活環境にあわせた内容を提供していきたい。	生活環境の変化に伴い、会員の保有財産が安心して増やせることができる様に情報の提供に努めた。
事業の公共性、公益性	主に会員及び登録家族であるが、事業内容により一般の方々も参加できる。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	法人が目的を達成するには、会員の拡大が必要であり、会員数も震災時以降徐々に増えてきた。	会員数も微力ながら震災後徐々に増えておりましたが、足踏み状態が続いているため、会員拡大及び魅力ある事業の展開に更に努めなければならない。	会員も増加傾向にあり、会員の加入推進に一定の成果があった。
事業の公共性、公益性	2市1町内の未会員の方々が加入することで、充実した福利厚生事業を提供することができ、さらに2市1町に住む一般の方々にも広く福利厚生事業を推進できる。		

9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	一般財団法人石巻地区勤労者福祉サービスセンター
------	-------------------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	流動資産	14,017	13,382	▲ 635	12,512	▲ 870
うち 現金・預金	13,572	13,036	▲ 536	12,200	▲ 836	
固定資産	48,702	48,842	140	49,036	194	
(1) 基本財産						
(2) 特定財産	48,698	48,698		48,923	225	
(3) その他の固定資産	4	144	140	113	▲ 31	
資産の合計	62,719	62,224	▲ 495	61,548	▲ 676	
貸方（科目）	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減	
流動負債	1,400	1,641	241	1,479	▲ 162	
うち 短期借入金						
固定負債	586	641	55	866	225	
うち 長期借入金						
負債合計	1,986	2,282	296	2,345	63	
正味財産	60,733	59,942	▲ 791	59,203	▲ 739	
指定正味財産	30,000	30,000		30,000		
うち 基本財産への充当額						
うち 特定資産への充当額	30,000	30,000		30,000		
一般正味財産	30,733	29,942	▲ 791	29,203	▲ 739	
うち 基本財産への充当額						
うち 特定資産への充当額	18,112	18,057	▲ 55	18,057		
負債・正味財産の合計	62,719	62,224	▲ 495	61,548	▲ 676	

正味財産増減計算書	科目	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部	3,436	▲ 791	▲ 4,227	▲ 739	52
経常増減の部	3,436	▲ 791	▲ 4,227	▲ 739	52	
経常収益	50,152	49,181	▲ 971	49,293	112	
経常費用	46,716	49,972	3,256	50,032	60	
評価損益等計						
経常外増減の部						
経常外収益						
経常外費用						
一般正味財産期首残高	27,297	30,733	3,436	29,942	▲ 791	
一般正味財産期末残高	30,733	29,942	▲ 791	29,203	▲ 739	
指定正味財産増減の部						
指定正味財産増減額						
指定正味財産期首残高	30,000	30,000		30,000		
指定正味財産期末残高	30,000	30,000		30,000		
正味財産期末残高	60,733	59,942	▲ 791	59,203	▲ 739	

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
事業活動によるキャッシュフロー	3,374	▲ 536	▲ 3,910	▲ 611	▲ 75
基本財産運用収入					
特定資産運用収入	22	22		23	1
入会金収入	211	159	▲ 52	117	▲ 42
会費収入	23,299	23,958	659	23,865	▲ 93
事業収入	10,743	9,245	▲ 1,498	9,610	365
補助金収入	15,000	15,000		15,000	
雑収入	611	595	▲ 16	509	▲ 86
その他の事業活動収入	▲ 82	326	408	226	▲ 100
事業費支出	▲ 13,725	▲ 14,752	▲ 1,027	▲ 16,051	▲ 1,299
管理費支出	▲ 9,129	▲ 10,455	▲ 1,326	▲ 10,509	▲ 54
その他の事業活動支出	▲ 23,576	▲ 24,634	▲ 1,058	▲ 23,401	1,233
投資活動によるキャッシュフロー	79		▲ 79	▲ 225	▲ 225
特定資産取崩収入	79		▲ 79		
特定資産取得支出				▲ 225	▲ 225
財務活動によるキャッシュフロー					
現金及び現金同等物に係る換算差額					
現金及び現金同等物の増減額	3,453	▲ 536	▲ 3,989	▲ 836	▲ 300
現金及び現金同等物期首残高	10,119	13,572	3,453	13,036	▲ 536
現金及び現金同等物期末残高	13,572	13,036	▲ 536	12,200	▲ 836

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	12,240	12,240		12,180	▲ 60
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）	4,147	4,584	437	5,071	487
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）	8,093	7,656	▲ 437	7,109	▲ 547
委託料及び指定管理料					
借入金（期末残高）					
短期借入金					
長期借入金					
出資・出捐（期末時）					
債務保証額（期末残高）					
損失補償額（期末残高）					
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）					

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ 補足資料

法人名：一般財団法人石巻地区勤労者福祉サービスセンター

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

年々歩幅ながら会員数は増加していたが、平成28年度に若干減少した。
しかしながら、実施した事業が好評であり、参加者も多かった。
そのため、会員減少によることよりも、実施事業参加者の増による支出が増えたため、資産が若干減少した。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
現金預金	資産の減少	実施した事業が好評で、参加者が増加し支出が増えたため。

2 損益計算書に関する補足

(1) 総括分析

今年度は、経常収益の部の事業収益における、還元金収入があったため、昨年と比べて収益は上がったものの、事業における参加者増加等による支出が増えたことと、昨年度途中で採用した職員1名の人件費が1年間になったことにより人件費が増加したことが、当期の経常増減のマイナスに繋がった。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
還元金収入	還元金の収入があった	共済金の掛け金に対し、請求が少なかったため、提携している全労済からの還元金があった。
健康維持増進事業費	支出が増加した	事業内容及び補助額の見直しにより、参加者等が増加し、センターの負担額が増加した。
自己啓発・余暇活動事業費	支出が減少した	事業内容の見直しにより、センターの負担額が減少した。

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

分析は損益計算書と同じ。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
事業収入	収入の増加	還元金があったため。
事業活動支出	支出の増加	参加者等の増加と人件費の増加。

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額 (単位:円)	補助金の使途
法令外負担金	12,180,000	運営費 (管理費・事業費の一部)

(2) 市からの委託業務等 (指定管理含む) の状況

委託業務の名称	委託料 (単位:円)	委託業務の内容
なし		

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額 (単位:円)	減免理由
なし		

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：一般財団法人石巻地区勤労者福祉サービスセンター

担当部署名：産業部 商工課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

経営の安定化を図るため、会員の確保を推進しているところではあるが、平成26年度～平成28年度の実績は、いずれも目標数に達していない。

このことは人手不足などに見られる管内の雇用情勢が少なからず影響していると推察されるため、自助努力による会員確保にも限界があるものとする。

よって、会員の増加も重要であるが、同時に事業の充実、運営の効率化を重視し双方の調和を図り経営の安定化を進めていくことが必要である。

（2）主要事業の成果、課題

平成27年度に比べ、共済給付人数、事業参加人数ともに増加となっており、一定の評価をする。

今後も、会員のニーズや社会情勢を的確にとらえ、採算性の高い事業を展開するよう常に内容の検証をすること。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

特になし

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

特になし

(3) キャッシュフロー計算書

特になし

(4) 市による財政・金融支援等

運営の見直しや経費削減等の成果により、経営の安定化が図られれば、補助金についても状況に応じ、減額等を検討する必要があると考える。

3 法人に対し市が期待する役割等 (担当部署所感)

引き続き、法人設立の目的・理念に基づき、石巻広域圏の勤労者及びその家族の福祉と福利厚生を充実させ、中小企業勤労者の生活の安定と健康の維持増進等を促進し、地域の雇用情勢及び労働環境の向上に寄与することを期待するとともに、各サービスを安定的に提供していくため、法人の運営の健全化及び地域情勢や社会情勢を的確に把握し適切な事業展開が今後益々重要である。